

11. 附属看護キャリア支援センター

11.1 看護キャリア支援センター運営委員会

委員長：丸岡直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、林教授、木森准教授、石川准教授、徳田特任准教授、
嶋田特任講師、小清水臨時講師、田村助教、清水助教

事務局：片山幸美嘱託

活動内容：

1. 前年度の実状および問題点・課題等

前年度の当センターの事業は、企画、受講生の募集と選考、各事業の運営と終了に至る一連の活動は円滑に実施できた。しかし、認定看護師教育課程において、要件に合致した教員の確保に課題が生じ、県内病院から協力を得ることで、次年度の教育課程継続につなげることができた。また、県の医療施策および臨床現場のニーズにより、平成28年度には認知症看護認定看護師教育課程の開設に向けた教育機関申請準備および選任教員および実習施設等の確保が課題となる。さらに、認定看護管理者（サードレベル）の教育機関申請は前年度中に行っており、認可後には開講に向けて準備する必要がある。

2. 今年度の目標

1) 今年度の事業計画を円滑に実施する。

事業内容 ①感染管理認定看護師教育課程

②県委託事業

実習指導者講習会（特定分野）

看護教員研修事業

看護管理経営研修

認定看護師活動実践報告会

2) 看護職者の資格取得（認知症看護認定看護師および認定看護管理者）へのニーズ調査を実施し、開講の継続の可能性を検討する。

3) 認知症看護認定看護師教育課程の開設にむけて準備を進める。

4) 認定看護管理者（サードレベル）教育機関承認後には、今年度中に開講する。

5) 平成26～28年度の事業報告書を作成し、ホームページに掲載する。

3. 今年度の活動内容・その評価

1) 今年度の事業内容は円滑に実施できた。年度当初に、委員で役割を分担し各事業の運営にあたった。（各事業の実施概要は p114～117を参照）

2) 平成28年5月に、北陸3県の病院の看護部責任者に認知症看護認定看護師および認定看護管理者の受講ニーズを調査した。その結果、開講後3年程度は受講生の確保が見込まれることが判断された。

3) 認知症看護認定看護師教育課程の教育機関申請を日本看護協会に提出し、10月31日に認可された。入試説明会を2回開催し、115名の参加があり、次年度に実施予定の入学試験

に向けての準備を進めている。専任教員を2名確保することができ、1名は次年度に着任予定である。

- 4) 認定看護管理者（サードレベル）教育機関として、6月28日に認可され、10月に開講した。（実施概要は p116参照）
- 5) 事業報告書のフォーマットを検討し、編集作業を開始した。ホームページへの掲載は平成29年4月を予定している。

4. 次年度以降に向けた課題・発展

- 1) 今年度は2つの教育課程と県委託事業（4事業）を実施したため、教務事務的作業の増大、受講生の履修・指導場所の確保と狭隘などの課題が生じた。そのため、次年度の事業計画立案では、受講生の募集・選考、開講期間などの状況から、教職員が無理のない状況で事業を計画していく。
- 2) 看護キャリア支援センターの主たる財源は受講料であるため、受講生の定員確保は重要な課題である。受講生の確保方策や開講の継続を検討するために、毎年、看護職者の資格取得に関するニーズ調査を実施する必要がある。
- 3) 感染管理認定看護師教育課程は平成29年度から休講となるが、これまでに70名の修了生を輩出している。修了生の活動実態や学習ニーズ調査を実施し、フォローアップの方策を検討する。
- 4) 認知症看護認定看護師教育課程が次年度に開講する。入学試験の適正な実施、教育課程の遂行を円滑に実施する。
- 5) 認定看護管理者（サードレベル）教育課程の確認審査を受審予定であるため、適切に対応する。

11.2 感染管理認定看護師教育課程

11.2.1 受講生の受講・修了状況

	定員	入学者数	修了者数
平成28年度	20	20	20

11.2.2 入学試験・入試説明会の実施

平成29年度から休講するため、入学試験および入学説明会は実施しなかった。

11.2.3 感染管理認定看護師教育課程入試委員会

委員長：丸岡 直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：今井教授、石川准教授、嶋田特任講師

北川洋子（富山大学附属病院）、室井洋子（福井大学医学部附属病院）

野田洋子（金沢医科大学病院）、越野まゆみ（石川県立中央病院）

事務局：片山幸美囑託

活動内容：感染管理認定看護師教育課程は平成29年度より休講するため、今年度は入学試験を実施しなかった。そのため、入試委員会は開催しなかった。

11.2.4 感染管理教員会

委員長：丸岡 直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、石川准教授、嶋田特任講師

飯沼由嗣（金沢医科大学）、吉野幸恵（石川県看護協会）

青木きみ代（国立病院機構金沢医療センター）、小森幸子（加賀市民医療センター）

事務局：片山囑託

活動内容：

1. 教育課程の内容、教育環境整備に関する検討
2. 受講生の修了判定

11.3 認知症看護認定看護師教育課程

11.3.1 教育機関認定審査

公益社団法人日本看護協会の認定看護師細則11条の規程および認定看護師教育機関認定の要件に基づいて、平成28年8月19日に、「認知症看護認定看護師教育課程」の教育機関認定審査申請を行った。

その結果、平成28年10月31日に教育機関として認可された。入学定員は30名であり、平成29年7月に開講予定である。

11.3.2 入学試験・入試説明会の実施

- 1) 入学試験

今年度は実施しなかった。1回目の入学試験は平成29年5月13日の予定である。

- 2) 入試説明の実施

平成28年11月23日（水）と平成29年2月18日（土）の2回実施し、延べ112名の参加があった。

11.3.3 認知症看護認定看護師教育課程 入試委員会

委員長：丸岡 直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：徳田真由美特任准教授、中道淳子講師

久米真代（金城大学）、多幡明美（石川県立高松病院）、福井亜紀（芳珠記念病院）

堅田三和子（地域医療機能推進機構金沢病院）、和田博之（福井県立すこやかシルバー病院）

事務局：片山囑託

活動内容：

1. 入学者募集要項・選抜方法の検討
2. 入学試験の実施体制の検討

11.3.4 認知症看護認定看護師教育課程 教員会

委員長：丸岡 直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：川島教授（学長補佐）、徳田特任准教授

堅田三和子（地域医療機能推進機構金沢病院）、吉野幸枝（石川県看護協会）

永田厚子（石川県立高松病院）、富澤ゆかり（金沢赤十字病院）、林浩靖（光ヶ丘病院）

事務局：片山囑託

活動内容：

認知症看護認定看護師教育課程は平成29年度7月に開講予定のため、今年度は実施しなかった。入学試験（平成29年5月13日）の合格発表後に開催予定である。

11.4 認定看護管理者

11.4.1 教育機関の認定

平成29年6月29日に日本看護協会より、認定看護管理者（サードレベル）教育機関として認定された。これを受けて、認定看護管理者（サードレベル）教育課程を平成28年10月31日～平成29年2月15日に開講した。

11.4.2 受講生の受講・修了状況

	定員	応募数	入学者数	修了者数
平成28年度	25	30	28	28

11.4.3 認定看護管理者教育運営委員会

委員長：丸岡 直子 教授（学長補佐兼附属看護キャリア支援センター長）

委員：武山教授（附属地域ケア総合センター長）、林教授、石川准教授、小清水臨時講師

岡田ふみ子（石川県看護協会）、中西容子（金沢市立病院）、野村仁美（地域医療機能推進機構金沢病院）、中瀬美恵子（浅ノ川総合病院）、出口まり子（芳珠記念病院）

事務局：片山囑託

事務局：片山囑託

活動内容：

1. 受講生の決定と修了判定
2. 教育課程の内容・方法、教育環境整備に関する検討

11.5 石川県委託事業の開催

11.5.1 実習指導者講習会（特定分野）

- 1) 目的：特定の分野の実習指導を行う者に対して、看護教育における実習の意義および実習指導者としての役割を理解し、学生の生美を生かす実習指導のあり方を修得する。
- 2) 開催時期：平成28年8月17日～9月16日の7日間
- 3) 受講者：24名
(看護師等経験5年以上で、病院以外の実習施設において学生の実習指導を担当している者、またはその役割を期待されている者)
- 4) 内容：教育方法・教育評価、看護教育課程、実習指導の実際・指導案の作成など39時間

11.5.2 看護教員研修事業

- 1) 目的：現代社会において、知識や技能を活用したり創造したりする力が求められている。高等教育では「学士力」「社会人基礎力」として取り上げられている。この知識・技能を活用する力、いわゆる課題を解決する思考力・判断力・表現力を、育成するための授業づくりをパフォーマンス評価の観点から考える。
- 2) 開催時期：平成28年6月11日、6月25日、7月2日、12月17日
- 3) 受講生：19名
- 4) 内容：パフォーマンス評価の理論と実際、学生が自らの経験を「活用する力」を育成する授業の実践と評価 など24時間

11.5.3 管理者経営研修

- 1) 目的：地域包括ケア時代における看護管理者の役割を果たすうえでの知識を修得し、自らの行動を明確にする。
- 2) 開催時期：平成28年9月30日～10月15日の4日間
- 3) 受講者：28名（護師長以上の職位にある者）
- 4) 内容：包括ケア時代における看護管理者の役割、看護管理者のための病院経営数字力、組織分析に基づく看護管理上の課題解決に向けた戦略 24時間

11.5.4 認定看護師活動報告会

- 1) 目的：在宅療養に向けた多職種協働における認定看護師の役割を再考し、自己の課題を明らかにする。
- 2) 開催時期：平成29年2月4日（土）13:00～15:00
- 3) 受講者：124名
- 4) 内容：認定看護師による在宅療養支援活動の発表と全体討議